

## 少人数だから、豊幌だからできる学校づくりを目指します

校長 風間 敏明

豊幌の学び舎は、東は岩見沢市、南は南幌町と接した閑静な住宅地と広々とした田や畑の間に建っています。春には、ハクチョウが群れをなして青空を飛び、校舎の隣で田植えが始まります。夏には、祭りで町内が盛大に賑わいます。秋には、田や畑で収穫が始まり、虫の音が美しく響きます。冬には、満点の空に星が美しく輝き、餅つきや雪山での子ども達の歓声が響きます。



豊幌の地は、もともと純農村でしたが、昭和の終わり頃から宅地化が進み、一時は児童数も250名を越えましたが、宅地化の進行が減速すると共に児童数も年々減少していき、今年度は107名のスタートとなりました。



町場の学校から比べると児童数は少ないのですが、一クラスが20名前後ですので、一人一人に目が行き届き、手厚い個別の学習支援や見守り・声かけが可能です。また、学校の近隣には、多くの自然や様々な施設があり、児童は、田植え・稲刈り、野菜作り、焼き芋等、学校周辺の豊かな自然環境を生かした体験学習を行っています。

そのような学校での様々な学習を支えているのが、保護者や地域の方々です。保護者はとても学校に協力的で行事への参加や協力も積極的です。地域も大変まとまっていて、児童の交通安全を毎日行ってくれたり、田や畑の先生としても授業に参加をしてくれたりしています。先生達もとても明るく元気で一つのチームになり頑張っています。豊かな自然と協力的な保護者と地域、元気な先生方ですので、平成30年度も素晴らしい教育活動を展開できると確信しています。

